

# 8

## 推進体制・評価方法

### 1 序論

- 1 地域公共交通計画の意義
- 2 府中市地域公共交通計画の概要
- 3 府中市地域公共交通計画の全体像

### 2 上位計画と国・東京都の方針

- 1 府中市の上位計画における都市像
- 2 国・東京都の地域公共交通に関する方針

### 3 府中市の地域公共交通の現状

- 1 府中市の概況
- 2 地域公共交通の現状
- 3 コミュニティバス事業の評価・検証
- 4 市民の移動実態

### 4 府中市の地域公共交通の問題点と課題

- 1 府中市の地域公共交通の課題
- 2 問題点と課題
  - (1) 市中心部への移動に関する問題点と課題
  - (2) 地区内の移動に関する問題点と課題
  - (3) 地区間・市内外への移動に関する問題点と課題
  - (4) 公共交通の利用環境に関する問題点と課題

### 5 基本的な方針

- 1 府中市地域公共交通計画の基本的な方針

#### 誰もが自由に移動ができる

- ・交通弱者の移動が確保された公共交通
- ・若者や子育て世代も移動しやすい公共交通
- ・来訪者も円滑に移動できる公共交通

#### まちづくりと連携した

- ・福祉や観光などの他分野と連携した公共交通
- ・まちの変化や新たな拠点と連携した公共交通
- ・デジタル技術の発展と連携した公共交通

#### 持続可能な地域公共交通

- ・財政負担が適正化された公共交通
- ・市民、事業者等と協働でつくる公共交通
- ・脱炭素社会の実現に寄与する公共交通

- 2 本市の地域公共交通のあるべき姿のイメージ

### 6 目標・評価指標

- 1 計画目標

1 市内各所から市中心部へのアクセスを効率的・効果的に確保する

2 地区内における生活・移動をより便利にする

3 地区間や市内外への移動の利便性を維持・向上する

4 年齢やライフステージ、身体状況等によらず、市民が必要な移動ができるようにする

5 誰もが安心・快適に移動できるようにする

6 交通サービスを将来にわたり提供できるようにする

- 2 計画目標ごとの評価指標・目標達成の方向性

### 7 施策・事業

- 1 施策展開の基本的な考え方
- 2 施策一覧
- 3 事業一覧
- 4 施策展開図
- 5 階層による施策・事業の整理
- 6 事業内容

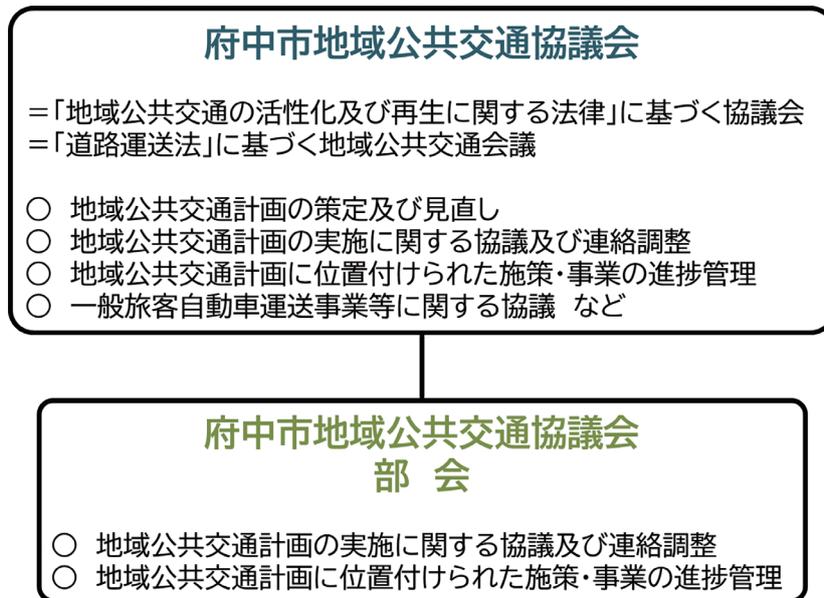
### 8 推進体制・評価方法

- 1 計画の推進体制
- 2 PDCAサイクルによる評価・検証
- 3 評価指標・数値目標

## 1 計画の推進体制

本計画は、「地域（住民・民間事業者等）」「交通事業者」「行政」の三者が連携し、一体となり、計画目標の達成に向けて取り組むとともに、それぞれの役割を確認しながら持続可能な交通体系の構築を目指すものです。

このため、本計画は、市民、交通事業者、本市を中心に構成される府中市地域公共交通協議会において、進捗管理を行いながら推進します。



## 2 PDCAサイクルによる評価・検証

### (1) PDCAサイクル

本計画は、計画策定（Plan）、施策・事業の実施（Do）、モニタリング・評価（Check）、見直し・改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルの考え方により推進していきます。なお、毎年度の施策・事業の実施・評価・見直しという短期のPDCAサイクルと、計画期間を通しての長期のPDCAサイクルにより、計画の推進及び進捗管理を行います。

#### PDCAサイクル（計画期間）

	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)	令和10年度 (6年目)	令和11年度 (7年目)	令和12年度 (次期計画)
施策・事業の実施	実施 D	実施 D						
施策・事業のモニタリング・評価		次年度準備 C→A・P	次年度準備 C→A・P	次年度準備 C→A・P	次年度準備 C→A・P	次年度準備 C→A・P	次年度準備 C→A・P	
評価指標のモニタリング・評価		C	C	C	C	C	C	C 計画の評価
計画の見直し検討・改訂		必要に応じて計画変更 A・P	中間評価 A・P		必要に応じて計画変更 A・P	次期計画に関する調査 A・P	次期計画の検討 A・P	次期計画

## (2) 毎年度の基本スケジュール

短期のPDCAサイクルでは、原則として、年度ごとに部会と協議会を各1回開催し、前年度の実績報告や次年度の事業案についての調整等を行います。

ただし、地域公共交通ネットワークの再編など重点事業の実施に当たっては、通常のスケジュールに加え、適宜会議を開催して、事業を推進します。また、部会、協議会における議論の内容を市ホームページ等に掲載することで、計画の進捗状況を確認できるようにします。

なお、計画を改定した場合のほか、毎年度の評価結果については、国土交通省及び総務省に報告します。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
府中市	事業実施(D)											
	議論を踏まえた事業の具体化(P)						次年度予算 検討・要望					
地域公共 交通協議会	【適宜】会議開催 ※重点事業に関する協議等											
	会議 開催			<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度実績報告(C)</li> <li>必要に応じて計画見直しの議論(A)</li> <li>次年度実施事業の決定(P)</li> </ul>						適宜 会議 開催		
地域公共 交通協議会 部会	【適宜】会議開催 ※重点事業に関する協議等											
	会議 開催		<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度実績報告(C)</li> <li>必要に応じて計画見直しの議論(A)</li> <li>次年度実施事業についての調整(P)</li> </ul>						適宜 会議 開催			
交通事業者	事業実施(D)											

## (3) 協議会における評価指標のモニタリング・評価スケジュール

長期のPDCAサイクルでは、評価指標の実績をモニタリングし、計画の進捗状況进行评估します。また、評価指標は、下の表のとおり、調査時期によって、毎年度評価するものと一定の時期に評価するものに分けています。

指標	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度
評価指標① 市中心部に接続する公共交通（鉄道・路線バス・コミュニティバス）の1日当たりの利用者数	●	●	●	●	●	●	●
評価指標② けやき並木通りの休日の歩行者交通量	●	●	●	●	●	●	●
評価指標③ 65歳以上の市民が週2回以上外出する割合			●			●	
評価指標④ 公共交通空白地域・不便地域の人口割合				●			●
評価指標⑤ 中心部以外の各駅の鉄道利用者数	●	●	●	●	●	●	●
評価指標⑥ 隣接市の鉄道駅への日中の公共交通（路線バス・コミュニティバス・新たな移動手段）の接続便数	●	●	●	●	●	●	●
評価指標⑦ 市内の主要拠点（駅を除く）への日中の公共交通（路線バス・コミュニティバス・新たな移動手段）の接続便数	●	●	●	●	●	●	●
評価指標⑧ 公共交通が利用しやすいと感じている市民の割合	●	●	●	●	●	●	●
評価指標⑨ 新たに整備される施設等への公共交通（路線バス・コミュニティバス・新たな移動手段）の接続便数	●	●	●	●	●	●	●
評価指標⑩ 鉄道駅におけるバリアフリー施設等の整備数	●	●	●	●	●	●	●
評価指標⑪ バス待ち環境の改善に資する取組の実施件数	●	●	●	●	●	●	●
評価指標⑫ 市内公共交通情報のオープンデータ化取組者割合	●	●	●	●	●	●	●
評価指標⑬ コミュニティバスの収支率	●	●	●	●	●	●	●
評価指標⑭ 公共交通事業者への各種支援件数	●	●	●	●	●	●	●
評価指標⑮ 市内のエネルギー消費量（運輸部門）	●	●	●	●	●	●	●

●：モニタリング・評価

### 3 評価指標・数値目標

各評価指標の算出方法や目標値設定の考え方は、次のとおりです。

評価指標① 市中心部に接続する公共交通(鉄道・路線バス・コミュニティバス)の1日当たりの利用者数	
分類	標準指標
指標の算出方法	<p>算出式 (鉄道の1日当たりの利用者数) + (路線バスの1日あたりの利用者数) + (コミュニティバスの1日当たりの利用者数)</p> <p><u>鉄道の1日当たりの利用者数</u>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・市中心部に位置する駅(府中駅・府中本町駅)を算出対象とする。</li> <li>・鉄道事業者のホームページに公表されている数値を計上する。私鉄は「一日平均乗降人員」を計上する。JRは「一日平均乗車人員」に2を乗じた数値を計上する。</li> </ul> </p> <p><u>路線バスの1日当たりの利用者数</u>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中駅に接続する全ての系統を算出対象とする。</li> <li>・路線バス事業者から提供される利用者数を計上する。</li> </ul>           〈参考：令和3年度時点の算出対象〉            武71、武73、寺92、府02、国17、府42、府46、西国44、西国45、寺91、国02、国03、府21、府52、府61         </p> <p><u>コミュニティバスの1日当たりの利用者数</u>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中駅に接続する全ての系統を算出対象とする。</li> <li>・運行事業者から提供される利用者数を計上する。</li> </ul>           〈参考：令和3年度時点の算出対象〉            多磨町ルート／北山町循環／是政循環／よつや苑西ルート／押立町ルート／朝日町ルート         </p>
基準値	119,158人/日 令和3年度(2021年度)実績の合計 内訳：府中駅69,727人、府中本町駅23,864人、路線バス21,120人、コミュニティバス4,447人
目標値	159,400人/日 令和11年度(2029年度)実績の合計 内訳：府中駅90,000人、府中本町駅35,000人、路線バス29,000人、コミュニティバス5,400人
目標値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成28年度から令和3年度までの推移を見ると、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度から令和2年度にかけて利用が落ち込み、令和3年度には利用が回復している。令和4年度以降も利用の回復がみられる可能性はあるが、生活様式の変化が生じていることを勘案すると、このままではコロナ前の利用状況に回復することは難しいと考えられる。</li> <li>○ 一方で、令和12年度まで本市の人口は減少しないと推計されており、令和4年度以降に実施する交通施策によって、コロナ前(平成28～30年度)の水準まで利用を回復させることを目指して、目標値として設定する。</li> </ul>

評価指標② けやき並木通りの休日の歩行者交通量	
分類	選択指標
指標の算出方法	担当課からの情報提供（委託事業者からの報告）
基準値	23,976人/日 令和3年度（2021年度）実績の合計
目標値	第7次府中市総合計画後期基本計画における令和11年度の目標値
目標値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第7次府中市総合計画施策60の指標は、令和7年度目標値が38,000人/日となっており、令和11年度までの目標は未定である。</li> <li>○ このことから、令和7年度までは、前期基本計画の指標に沿って進捗管理を行い、後期基本計画策定後は、同計画における令和11年度の目標値を、本計画の目標値に設定する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">参照：第7次府中市総合計画191ページ</p>
参考指標	平日や他の周辺道路における歩行者交通量

評価指標③ 65歳以上の市民が週2回以上外出する割合	
分類	選択指標
指標の算出方法	担当課からの情報提供（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）
基準値	79.6% 令和元年度（2021年度）週2回以上の外出割合
目標値	80% 令和10年度（2029年度）週2回以上の外出割合
目標値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成27年時点の高齢者人口を100とした場合の令和12年における後期高齢者（75歳以上）人口の推計値は143.3となっており、移動制約者となり得る後期高齢者人口は増加傾向が続く。</li> <li>○ この場合であっても、現在の外出回数を維持するようおおむね基準値と同数の80%を目標値とする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">参照：府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第8期）9ページ</p>
参考指標	前期高齢者・後期高齢者など年齢別の割合

評価指標④ 公共交通空白地域・不便地域の人口割合	
分類	推奨指標
指標の算出方法	国勢調査における本市の人口に対する、(1)鉄道駅800m圏外並びにバス停300m圏外又は片道30本未満のバス停300m圏内、(2)鉄道駅300m圏外並びにバス停300m圏外又は片道30本未満のバス停300m圏内の地域に居住する人口の割合。
基準値	(1)3.2% (2)16.7% 令和3年度（2021年度）人口割合
目標値	基準値以下 令和11年度（2029年度）人口割合
目標値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和2年国勢調査における本市の人口262,790人に対し、(1)の人口8,433人の割合である3.2%、(2)の人口43,947人の割合である16.7%が増加しないよう、基準値以下を目標値に設定する。</li> <li>○ なお、地域公共交通ネットワークの再編により、新たな移動手段等が導入される場合は、状況に応じて公共交通空白地域・不便地域の定義を再検討する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">参照：第7次府中市総合計画15ページ</p>

評価指標⑤ 中心部以外の各駅の鉄道利用者数	
分類	標準指標
指標の算出方法	市中心部以外に位置する駅（JR南武線分倍河原駅、京王線分倍河原駅、中河原駅、多磨霊園駅、武蔵野台駅、東府中駅、府中競馬正門前駅、多磨駅、白糸台駅、競艇場前駅、是政駅、西府駅、北府中駅）を対象とし、鉄道事業者のホームページに公表されている数値を計上する。 なお、私鉄は「一日平均乗降人員」を計上し、JRは「一日平均乗車人員」に2を乗じた数値を計上する。
基準値	276,097人/日 令和3年度（2021年度） 内訳：JR分倍河原駅64,850人、京王分倍河原駅74,388人、中河原駅21,536人、多磨霊園駅11,057人、武蔵野台駅20,000人、東府中駅17,490人、府中競馬正門前駅693人、多磨駅10,284人、白糸台駅5,410人、競艇場前駅2,518人、是政駅6,159人、西府駅17,150人、北府中駅24,562人
目標値	346,500人/日 令和11年度（2029年度） 全ての鉄道駅に効果が見込まれるため、駅ごとの目標値は設定しない。
目標値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合計値の平成28年度から令和3年度までの推移をみると、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に利用が落ち込み、令和3年度にはやや利用が回復している。令和4年度以降も利用の回復がみられる可能性はあるが、生活様式の変化が生じていることを勘案すると、このままではコロナ前の利用状況の回復することは難しいと考えられる。</li> <li>○ 一方で、令和12年度まで本市の人口は減少しないと推計されており、令和4年度以降に実施する交通施策によって、コロナ前（平成28～30年度）の水準まで利用を回復させることを目指して、目標値を設定する。</li> <li>○ 進捗管理に当たっては、分倍河原駅の乗り換え利用の割合が多いため留意する。</li> </ul>

評価指標⑥ 隣接市の鉄道駅への日中の公共交通（路線バス・コミュニティバス・新たな移動手段）の接続便数	
分類	選択指標
指標の算出方法	隣接市の鉄道駅に接続する市内に停留所がある路線の平日日中（8時～20時）における接続便数の合計  市域北側対象駅（停留所名） 国立駅（国立駅南口）、谷保駅（谷保駅）、国分寺駅（国分寺駅南口）、西国分寺駅（西国分寺駅）、武蔵小金井駅（武蔵小金井駅南口）  市域南側対象駅（停留所名） 飛田給駅（飛田給駅北口・南口）、南多摩駅（南多摩駅）、聖蹟桜ヶ丘駅（聖蹟桜ヶ丘駅）、永山駅（永山駅）
基準値	市域北側：799便/日 令和4年10月 内訳：武蔵小金井駅201便、国分寺駅234便、西国分寺駅145便、国立駅141便、谷保駅78便 市域南側：77便/日 令和4年10月 内訳：飛田給駅27便、南多摩駅1便、聖蹟桜ヶ丘駅49便、永山駅0便、高幡不動駅0便
目標値	市域北側：基準値以上/日 令和11年度 市域南側：85便/日 令和11年度
目標値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標値は、バス交通が充実している北側は、現状維持を原則としつつ基準値以上を、南側は現状の1割増を目標とする。</li> <li>○ 対象とする時間の設定は、ちゅうバスの運行時間を基準として8時から20時までとする。</li> <li>○ 新たな移動手段については指標④と同様に順次検討する。</li> </ul>

評価指標⑦ 市内の主要拠点(駅を除く)への日中の公共交通(路線バス・コミュニティバス・新たな移動手段)の接続便数	
分類	選択指標
指標の算出方法	府中市都市計画マスタープランにおける駅以外の拠点周辺に発着する、市内に停留所がある路線の平日日中(8時～20時)における接続便数の合計。 なお、対象の停留所のうち他の停留所と路線が重複する便は除外する。  対象停留所 ・広域医療拠点(総合医療センター) ・文化スポーツ拠点(郷土の森正門前、郷土の森総合体育館、芝間稻荷神社、郷土の森) ・にぎわい活力拠点(府中市美術館、府中の森公園、天神町二丁目、生涯学習センター、市民聖苑前、芸術劇場)
基準値	502便/日 令和4年10月
目標値	552便/日 令和11年度(2029年度)
目標値設定の考え方	○ 目標値は現状の1割増とする。 ○ 対象とする時間の設定は、ちゅうバスの運行時間を基準として8時から20時までとする。 ○ 新たな移動手段については指標④と同様に順次検討する。

評価指標⑧ 公共交通が利用しやすいと感じている市民の割合	
分類	推奨指標
指標の算出方法	担当課からの情報提供(市民意識調査)
基準値	66.6% 令和3年度(2021年度)の割合
目標値	第7次府中市総合計画後期基本計画における令和11年度の目標値
目標値設定の考え方	○ 第7次府中市総合計画施策58の指標は、令和7年度目標値が70%となっており、令和11年度までの目標は未定である。 ○ このことから、令和7年度までは、前期基本計画の指標に沿って進捗管理を行い、後期基本計画策定後は、同計画における令和11年度の目標値を、本計画の目標値に設定する。  参照：第7次府中市総合計画187ページ
参考指標	前期高齢者・後期高齢者など年齢別の割合

評価指標⑨ 新たに整備される施設等への公共交通(路線バス・コミュニティバス・新たな移動手段)の接続便数	
分類	選択指標
指標の算出方法	新たに整備される施設に接続する公共交通の往復の便数の合計
基準値	なし
目標値	1施設1往復以上 令和11年度(2029年度)実績の合計
目標値設定の考え方	○ 令和11年度までに新たに整備される公共施設等について1施設1往復以上を目標値に設定する。

評価指標⑩ 鉄道駅におけるバリアフリー設備等の整備数	
分類	選択指標
指標の算出方法	市内鉄道駅におけるバリアフリー設備等整備数の合計
基準値	1施設 令和3年度（2021年度）
目標値	13施設（累積） 令和11年度（2029年度）
目標値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全てのバリアフリー設備を対象とするが、目標値は市が望むホームドアの整備数（1線 = 1施設）とする。</li> <li>○ 内訳： <ul style="list-style-type: none"> <li>（R3）西武鉄道多摩川線競艇場前駅ホーム内方線付き点状ブロック1施設</li> <li>（R4）JR南武線府中本町駅ホームドア2線</li> <li>（R5以降）西府駅ホームドア2線（予定）</li> <li>（市の要望対象）京王線府中駅ホームドア整備4線、分倍河原駅ホームドア2線、南武線分倍河原駅ホームドア2線</li> </ul> </li> </ul>

評価指標⑪ バス待ち環境の改善に資する取組の実施件数	
分類	選択指標
指標の算出方法	市内停留所におけるベンチの設置など待合環境改善に資する取組数の合計
基準値	3件 令和3年度（2021年度）
目標値	基準値以上（累積） 令和11年度（2029年度）
目標値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後作成する基準に基づき実施することから、累積値で基準値以上を目標として設定する。</li> </ul>

評価指標⑫ 市内公共交通事業者のオープンデータ化取組者割合	
分類	推奨指標
指標の算出方法	市内交通事業者のオープンデータ化取組数の割合
基準値	0% 令和3年度（2021年度）の割合
目標値	100% 令和11年度（2029年度）の割合
目標値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内事業者のオープンデータ化の取組状況を把握する。</li> <li>○ 鉄道事業者3社・バス事業者2社・タクシー事業者6社</li> </ul> <p>※オープンデータ化取組の想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道：「交通事業者における交通関連データのオープン化に関する共通指針」に基づく取組など</li> <li>・バス：「標準的なバス情報フォーマット」の整備など</li> <li>・タクシー：配車アプリに利用可能な位置情報等のオープンデータ化など</li> </ul>

評価指標⑬ コミュニティバスの収支率	
分類	標準指標
指標の算出方法	各年度実績におけるコミュニティバスの運行経費に占める運行収入の割合
基準値	47.1% 令和3年度（2021年度）
目標値	60% 令和11年度（2029年度）
目標値設定の考え方	○ 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年度実績58.6%を踏まえ、60%を目標値と設定する。

評価指標⑭ 公共交通事業者への各種支援件数	
分類	選択指標
指標の算出方法	市内公共交通事業者に対して実施した市の支援件数の合計
基準値	1件 令和4年度（2022年度）
目標値	基準値以上（累積） 令和11年度（2029年度）
目標値設定の考え方	○ 地域公共交通協議会における経営状況に関する情報共有や国の動向等を注視し、支援が必要となった際に実施を検討することから、累積値で基準値以上を目標として設定する。 (令和4年度実績) 乗合バス・タクシー事業者原油価格・物価高騰臨時対策補助金

評価指標⑮ 市内のエネルギー消費量（運輸部門）	
分類	選択指標
指標の算出方法	担当課からの情報提供（第3次府中市環境基本計画）
基準値	2,428TJ 令和元年度（2019年度）
目標値	1,833TJ 令和12年度（2030年度） ※目標年度は第3次府中市環境基本計画に合わせる。
目標値設定の考え方	○ 第3次府中市環境基本計画における成果指標を踏まえた目標値を設定する。 (同計画における成果指標) ○ 市内のエネルギー使用量 現状値（2013年度）：11,935TJ 目標値（2030年度）：8,354.5TJ 参照：第3次府中市環境基本計画29ページ
参考指標	市内の温室効果ガス排出量、市内のエネルギー消費量、平日・休日ごとの道路交通量、登録自動車台数（乗用車）、自転車駐車場利用台数等

